

◆実践問題21◆

5=ある者

帝、后、皇女失せ給ひぬとおぼしまどひ。求め給ふに「武蔵の国の衛士の男なむ、いと香ばしき物を首にひきかけて、飛ぶやうに逃げける」と申し出でて、この男を尋ぬるに、なかりけり。論なくもとの国にこそ行くらめと、公より使ひ下りて追ふに、勢多の橋こぼれてえ行きやらず。三月といふに武蔵の国に行き着きて、この男を尋ぬるに、この皇女、公使ひを召して、「われさるべきにやありけむ、この男の家ゆかしくて、率て行けと言ひしかば、率て来たり。いみじくここありよくおぼゆ。」この男罪しれうぜられば、われはいかであれと。これも前の世に、この国にあとを垂るべき宿世こ

1回目
2回目
3回目
4回目
5回目

そありけめ。はや歸りて公に、このよしを奏せよ」と仰せられければ、いはむかたなくて、上りて、帝に、「かくなむありつる」と奏しければ、「いふかひなし。その男を罪しても、今はこの宮をとりかへし都に歸し奉るべきにもあらず。その男に、生けらむ世のかぎり、武蔵の国を預けとらせて、公事もなさせじ」との宣旨下りにけり。